



今日も訪問へ行く！

～2月小さな春を見つけました～



雪から雨へと変わり、雪や氷の解けだす頃となりました。



李(すもも)

花の名前の由来は諸説ありますが、実が桃に似ているけれど、桃と違って酸っぱいことから「酸っぱい桃」で酢桃（すもも）と呼ばれるようになり、その後「李（すもも）」という漢字が付けられたとされています。

中国に、李下に冠を正さず（りかにかんむりをたださず）ということわざがあります。

スモモ（李）の木の下で冠をかぶり直すと、スモモ（李）の実を盗んでいる泥棒と間違われてしまうので、スモモ（李）の木の下では冠をかぶり直してはいけません。

という意味があり、そのことわざから「**誤解**」「**困難**」という花言葉が付けられたとされています。

訪問先の団地に野の花訪問専用車を駐車しました。

ふと上を向くと「春がそこまで来ているよ」と知らせてくれました。



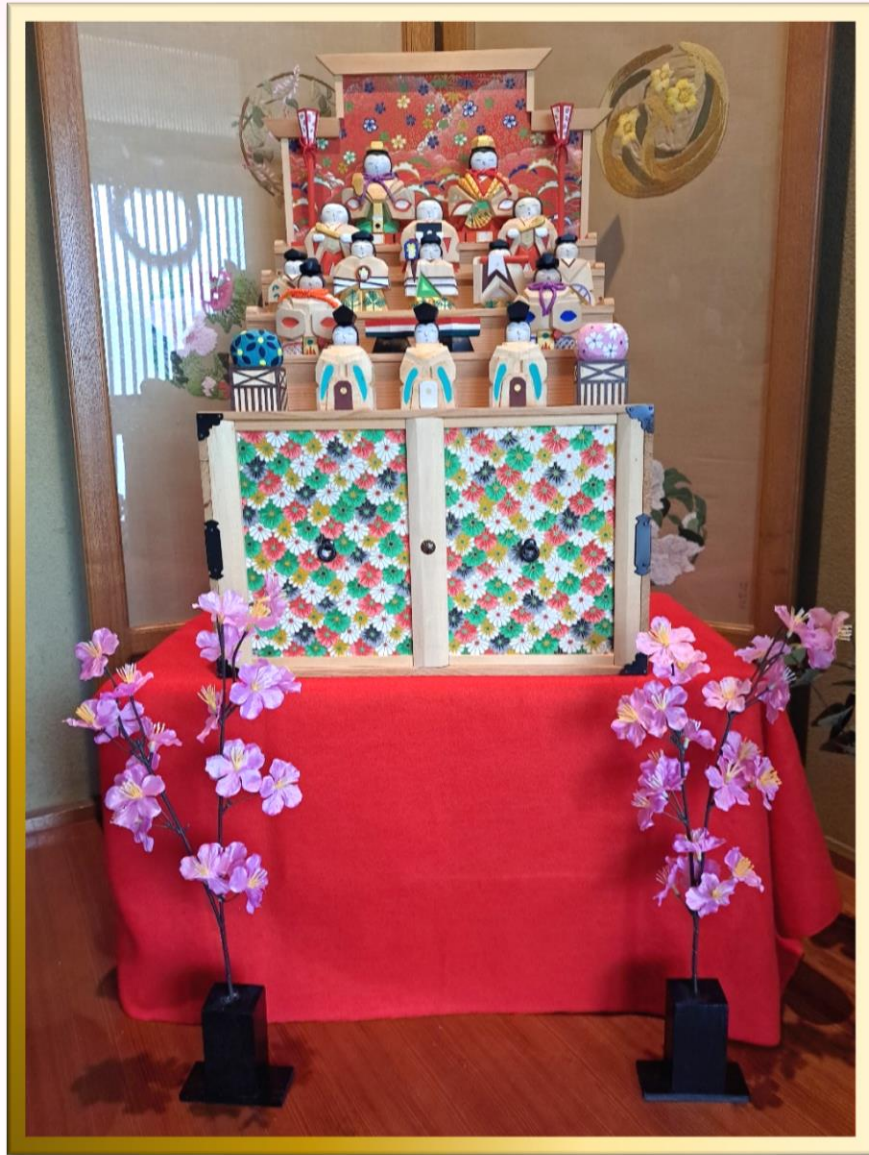
桃（もも）

桃の花の咲く季節は、春3月後半～5月、ソメイヨシノよりも少し早くに咲き始めます。

桃の花には、一重咲き、八重咲きがあり、花色も白、ピンク、赤などがあります。さらに枝垂れるものや葉が紫色を帯びたようなものまで、たくさんの品種があります。

花言葉は「チャーミング」「気立ての良さ」、由来は、桃が女性への敬いの象徴のためです。

一刀彫のお雛様



訪問看護ステーション野の花の利用者様のご主人が、作られた「一刀彫のお雛様の段飾り」です。

訪問時、玄関先のインターフォンを鳴らし、「おはようございます」と玄関を開けると、出迎えてくれます。

お伺いする度に、春の訪れを感じさせていただける瞬間に感謝するばかりです。

私たち訪問看護ステーション野の花一同、利用者様とご家族様と共に、季節を感じ、同じ時間の毎日と一緒に生きています。

病院理念である『心ある医療』を実践しますので、よろしくお願いいたします。

